

1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成 21年 3月 8日

【評価実施概要】

事業所番号	2870901879		
法人名	株式会社 ユーサイド		
事業所名	グループホームフレージ甲子園		
所在地	〒663-8184 兵庫県西宮市鳴尾町2-25-22 (電話) 0798-41-6140		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉市民ネット・川西		
所在地	〒666-0016 兵庫県川西市中央町8-8-104		
訪問調査日	平成21年1月14日	評価確定日	2009年3月8日

【情報提供票より】(H20年12月11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 11 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	27 人	常勤19人, 非常勤 8 人, 常勤換算	23 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	3階建て	1~3階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	77,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(500,000 円)	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,500 円	

(4) 利用者の概要(12月11日現在)

利用者人数	26名	男性	2名	女性	24名	
要介護1	4名	要介護2	5名			
要介護3	6名	要介護4	9名			
要介護5	2名	要支援2	0名			
年齢	平均	85歳	最低	74歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	桜橋渡辺病院、松尾外科、志水医院、柳澤クリニック、後藤泌尿器科、あだち歯科
---------	---------------------------------------

【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

・隣に公園があり事業所の前には臨港線が走っている。近所に100円ショップ、ラーメン屋、食堂もあり、普通の生活が出来る環境にある。3ユニットのリーダーが中心にその人らしさを活かした対応を心がけている。定期的な運営推進会議の開催が必要で、外部との関係性を深め、利用者の生活の幅を広げて安心して暮らせる環境作りが求められる。医療との連携がとれ、往診医が訪問している。「フレージ便り」を毎月発行して利用者の暮らしぶりや職員の異動等伝え、家族は便りを楽しみにしている。今後は地域密着型サービス施設として、地域との関わりの強化をさらに望みたい。
--

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:第三者4) ・外出の機会の増加、職員の異動の通知、入浴の時間の拡大等が改善点だった。散歩や買物に出かけるよう心がけ、異動は「フレージ便り」に載せ、入浴は見守りで入れる人には希望する時間に入ってもらおう等の取り組みを行った。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:第三者4) ・各ユニットのリーダーが自己評価し管理者がまとめた。評価を通して自分たちの仕事を客観的に見直しできた。地域との交流や利用者の状態への対応力を高める必要性を感じた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:第三者4,5,6) ・20年度の運営推進会議は管理者の交代や出席者の日程調整ができず開催されていない。事業所では今年開催を検討しているが、早急に関き外部との連携をとる必要がある。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:第三者7,8) ・家族からの要望はあるが、苦情は少ない。事業所ではアンケート形式で意向、苦情等を尋ね、改善に取り組みたいと計画している。又、家族同士で話し合う場を設け一緒に話し合うことも大切であるので、両方の取り組みを期待したい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:第三者3) ・自治会に加入し、地域の学校の文化祭に利用者の作品を出展したり、トライやるウィークの中学生やお話ボランティアを受け入れたりしている。

2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・地域密着型サービスとしての事業所独自の理念は作っていない。地域密着型サービスの役割を取り入れた内容の理念作りを検討している。		・これまでの理念に加え、地域でその人らしい生活を目指す地域密着型の内容の理念作りに取り組まれない。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・理念は入職時説明し、朝礼等で確認している。家族も一緒に行事を祝ったり、馴染みの関係や物を大事にし、利用者に豊かに過ごしてもらえよう、理念を実践している。		
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・自治会に加入している。地域の学校の文化祭の作品展に、利用者の習字やちぎり絵等出品したり、トライやるウィークの中学生やお話ボランティアを受け入れている。		・地域の老人会や行事への参加を通して、利用者が地域と接点を持つ機会をより多くする取り組みを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価は職員の意見を参考にユニットリーダーが作成し管理者がまとめた。利用者がお金を自己管理することの大切さ等を再確認した。職員は利用者のニーズへの配慮や地域との交流の重要性を改めて認識した。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・管理者が交代したり、出席者の日程が合わず、平成20年は開催していない。</p>		<p>・定期的に運営推進会議を開き、行政、地域住民、家族等に事業所の現状を理解してもらい、意見や協力を得て、地域に根ざした質の向上を図る必要がある。</p>
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・市を訪問することは少なく、担当者へ入居者のこと等、電話で相談している。</p>		<p>・直接訪問して、日頃から事業所の情報を提供し、問題解決のための理解や支援が得られるよう努められたい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>・利用者の暮らしぶりや職員の異動は月1回発行する「フレーゲ便り」で報告、金銭管理は金銭帳を毎月郵送している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・家族等の来訪時に不満や意見等直接聞いている。意見、苦情等をアンケート方式で尋ねその結果をサービスの質の向上に活かしたいと検討中である。</p>		<p>・アンケートに早急に取り組まれたい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>・新任の職員には担当者がついて、一緒に利用者に対応し、利用者が不安にならないように配慮している。給与や福利厚生に力をいれ、働きやすい環境作りもしている。</p>		


第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・母体の病院の研修に参加したり、外部研修の情報を提供し、参加者は報告書を作成し、会議で報告している。内部研修はスタッフ会議での話し合いが中心である。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・西宮市のグループホーム連絡会が定期的開催され、市の職員も参加して情報交換や勉強会を行っている。職員の交流はない。</p>		<p>・職員も交流を持ち研鑽できる場を作ってはいかがか。</p>
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>・入居前に家族と一緒に本人に見学に来てもらっている。希望者には体験入居してもらい徐徐に馴染みながらの利用もできる。入居当初は一時帰宅も認め落ち着けるよう支援している。</p>		
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>・職員は利用者の残存能力を活用して一緒に食事の後片付けや掃除をしながら、支えあう関係作りに努めている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>・一人ひとりの態度や表情から希望や意向を読み取っている。把握が難しい時は、家族を通して情報を得ることもある。</p>		<p>・利用者の生活歴や好み等を個別に記録し、それをベースに本人本位の気持ちを理解する努力が望まれる。</p>
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>・スタッフ会議で、利用者を担当する人を中心に、利用者の日中、夜間の様子、家族の意向等を話し合い、具体的な計画に反映している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>・スタッフ会議で、職員が気付いたことを出し合って、介護計画の見直しを毎月行っている。特変事はその都度見直す。家族の確認を得ている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>・入院時の身の回りの支援、通院介助など、家族の状況に応じてできる支援をしている。特別な外出の場合は事情によって対応している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・利用者、家族の希望を優先し、かかりつけ医の受診を基本としている。個別の状況に対応できるよう 母体提携協力医院のバックアップ体制をとっている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>・契約時に延命治療の希望確認書を取っている。利用者、家族とはその都度確認し合い、医師と相談のうえホームでの生活が継続できるよう支援している。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>・利用者への呼びかけは、親しみを込めた丁寧な言い方に努めている。個別の要望に応じ同性介助などに配慮している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>・利用者の前日の様子と、その日の体調を見て行事へお誘いしている。その人の希望を念を押して確認する。気分転換のため散歩も兼ねての買い物や化粧をするなどをすすめている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>・食材はまとめて購入しホームで調理している。朝食に焼きたてパンを購入したり、日曜日に利用者と手作り料理を楽しんでいる。職員も利用者と一緒に食事をしながらその日のことを話し合っている。配膳や食器ふき、後片付けは利用者が役割を持って関わっている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>・入浴時間等一人ひとりの希望に添っているとはいいがたいが、ゆっくり、くつろいだ気分で入浴してもらえるよう努めている。</p>		<p>・個々の希望の把握に努め、支援できる体制づくりの検討を望みたい。</p>
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>・食事時の役割は当番制を基本に関わってもらっている。フラワーアレンジメント、ちぎり絵や習字、スポーツ観戦、オセロゲームなど好きな時に好きなことをして過ごしてもらっている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>・友人に会いに行ったり、買物に行く人もいるが、希望に添った外出ができてほしいがたい。</p>		<p>・天候や体調面での配慮はしつつ、外気に触れる機会を多く持てるよう、声かけをしながら取り組んでいただきたい。</p>
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>・玄関前の道路の交通量が多く危険であるため施錠している。</p>		<p>・鍵を掛けることへの閉塞感を少しでも軽減できるような職員とホームの取り組みを望みたい。</p>

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>・定期的に年2回の避難訓練は、利用者とともに実施している。ホーム前には消防署、隣接は公園で環境的には恵まれているといえるが、地域との協力体制にはいたっていない。</p>		<p>・安心、安全な環境には恵まれているが、人的な協力体制づくりにも今後は期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・食事、水分摂取量はチェックしている。体調面による水分確保が必要な場合は、好みの飲料やとろみなどでの摂取を支援している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・居間、廊下は窓が多く自然光がさし明るい雰囲気、ベンチやソファが適度に配置され個々のくつろぎスペースとなっている。多くの利用者は、昼間はほとんど居間で過ごされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・利用者、家族にはこれまで使用してきた家具だけでなく身の回りの細々した物も含め持参してもらうよう話している。</p>		

 は、重点項目。